

Labo News v o l . 2

～ 検査・輸血細胞治療部からのお知らせ～

Labo Newsは富山大学附属病院 検査・輸血細胞治療部ホームページから閲覧できます。
<http://www.hosp.u-toyama.ac.jp/ccla/index.html>

検査案内 第6版 発行

<p>検査・輸血細胞治療部 検査案内</p> <p>第6版</p> <p>2019年7月1日</p> <p>富山大学附属病院 検査・輸血細胞治療部</p>	生化学的検査 生体検査
	血液・血清 経尿尿検査
	尿検査
	尿沈渣検査
	尿糖検査
	尿蛋白検査
	一般検査
	輸血検査 輸血細胞検査
	細胞計測検査
	血液貯留検査
	生理検査
	外科検査

この度「検査・輸血細胞治療部 検査案内 第6版」を発行しました。検査案内には検査依頼方法、検体採取時の採取容器や検体採取方法などの検査前手順、必要なサンプルの量や種類、検査後の検体の保管方法や臨床的適応等についても記載されています。

今回の検査案内は各診療科外来の全診察室、中央診療部および全病棟に配布しています。日々の臨床の現場で検査・輸血細胞治療部の検査についてわからないことがありましたら是非活用していただくと幸いです。その他、検査室のサービスの利用や苦情については、記載されている「苦情・問い合わせ先」へご連絡ください。

検査案内はサイボウズから閲覧、印刷できます。

生化学部門からのお知らせ

皆様には、日頃の検査業務運営にあたり、ご尽力、ご協力頂きありがとうございます。改めまして、生化学部門からのお知らせです。

最近、**気送管で検体が届いた際に中で血液が漏れて、気送管内が汚染されてしまう事例が多発**しています。特に、シール栓の採血管において血液漏れの発生が多く、採血の際にホルダーに強く押し込み過ぎることによる栓の破損が考えられます。

採血後は採血管の栓が破損していないか確認をお願い致します。また、気送管を使用する場合、**採血管をナイロン小袋に入れるよう**ご配慮頂けますと幸いです。

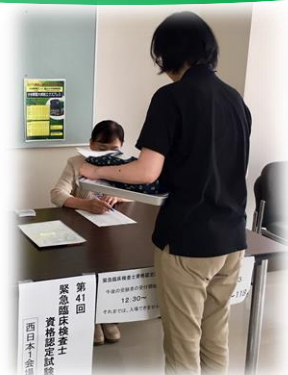
血液が漏れていたとしても、汚染を最小限に留めることができますので、ご協力を宜しくお願い致します。



第41回緊急臨床検査士資格認定試験開催！

2019年7月13日(土)・14日(日)、富山大学杉谷キャンパスにて、「第41回緊急臨床検査士資格認定試験」が行われました。本年から2年にわたり本学が試験担当校となっており、今回試験開催にあたり試験委員として準備を重ねてきました。当日は試験監督や受付・案内業務などに携わり、試験が円滑に進むよう受験者をサポートしました。緊急臨床検査士とは臨床検査技師の認定資格のひとつであり、緊急時における検査一般の知識と技術が求められる資格です。その内容は、輸血学、一般検査学、臨床化学、血液学、微生物学、生理検査学の6部門と多岐にわたっており、それぞれ筆記試験と実技試験で評価されます。

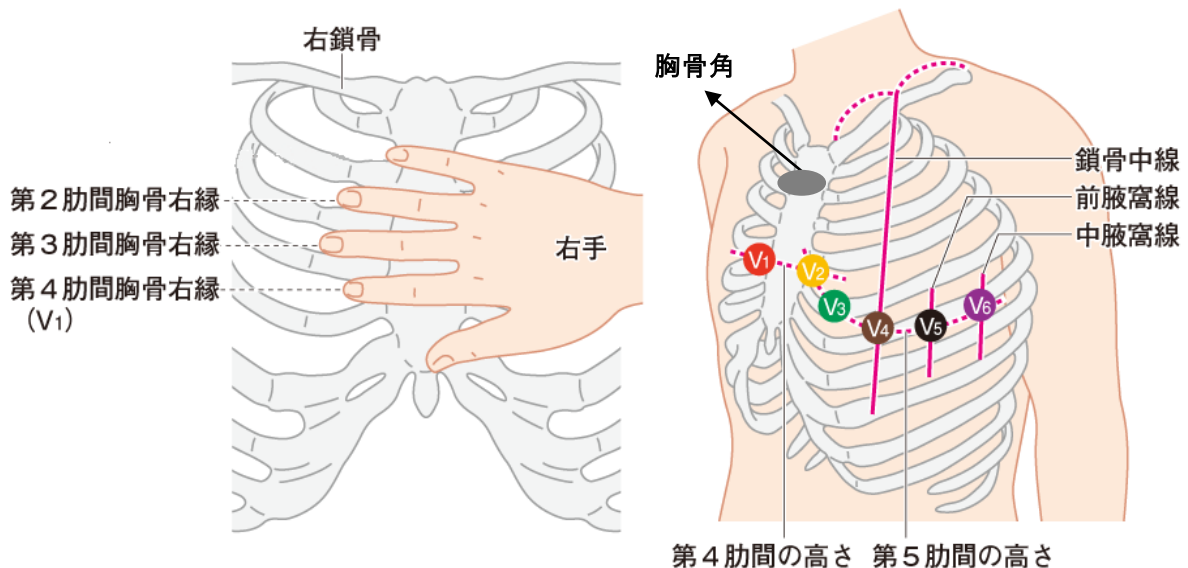
当院検査・輸血細胞治療部では4名がこの緊急臨床検査士の資格を取得しており、緊急時に対応できるようにしています。



Q&Aコーナー

Q: 外来で緊急の心電図を記録するときに胸部電極の取り付け位置に悩みます。探し方やコツがあれば教えてください。

A: 診断の役に立つ心電図を記録するためには、電極を正しい位置に装着することが第一です。誤った電極位置で記録した標準12誘導心電図は役には立ちません。標準12誘導法の胸部電極装着位置と誘導コードの色はご存じとは思いますが下記の通りです。



ここがポイント！

胸部誘導はV1又はV2の**第4肋間を探す**ところがポイントです。第4肋間を探すには**第2肋間**を先に探します。

仰臥位で**前胸部にポコッと飛び出す部分**を探します。そこが第2胸骨のくっついているところです。(解剖学的には**胸骨角**と呼ばれる部分です。)

第2肋間から順に指を置き第4肋間を探し、V1・V2を付けた後第5肋間鎖骨中線にV4を付けV2とV4の中間にV3を付けます。

V4と同じ高さの前腋窩線にV5、同じ高さの中腋窩線にV6を取り付けます。

四肢電極の装着位置は、手首から腕の付け根および足首から足の付け根までの間であれば、波形に大きな変化はないといわれています。もし、手首や足首に電極をつけられない場合は、位置を変えて測定してください。

緊急で心電図を記録する場合はなかなかきれいに記録できないとは思いますが、基線がflatで、P波QRS波 T波がきれいにできるように記録していただくと判読もスムーズにできます。

Q&Aコーナー 質問募集中！！

下記アドレスに送ってください。お待ちしております。

seiri@med.u-toyama.ac.jp